

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和2年3月30日 (令和元年12月アンケート実施)

事業書名: 子どもの生活研究所めばえ学園 保護者数(児童数) : 33名 回収数 22名 割合 72.6%

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	21	1			・人数が多い時は、どうなのか などと思います。	・居室は、設置基準を満たしています。 ・居室以外にも、体育館や園庭なども、お子さんの状態に合わせて使用しています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	19	2		1	・先生達の子どもへの接し方や対応が上手で、いつも参考にしています。 ・配置人数が不足していると感じる時もあります。余裕のなさを感じる時もあります。	・基準通りの配置となっています。 ・お子さんの低年齢化や状態により、より個別的な配慮が必要な場合もあります。基本集団療育ではありますので、安全管理を含め、配置人数の中で、より柔軟に対応していける支援体制は今後工夫していくことが課題です。 ・言語聴覚士を配置して、療育に繋げていきたいと考えますが、検査含めまだ体制が整備されていません。 ・職員の専門性を高める為に、日々のSV体制や自己研修計画を通して支援力の向上を目指していきます。 ・親子療育(動作法)を担当している公認心理師が助言を行っています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	21	1			・絵や写真カードを使って分かり易く工夫して頂いています。	・絵カードや写真カードなど視覚的な情報を用いながらお子さん達のスムーズな理解に繋げるようにしています。 ・一人ひとりの興味や関心、状態に合わせて、過ごしやすい環境(机の配置の工夫、ソファーマット等)作りを工夫します。

	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	22			<ul style="list-style-type: none"> ・毎日拭き掃除まで丁寧にしています。 ・所内は綺麗で、電気のスイッチやドアの鍵は、子どもの手が届かない所に設置されています。 ・ハロウィン、クリスマスなど季節の装飾が可愛いです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃・消毒・安全等の確認を行っています。 ・その時の子どもに合わせた活動場所を、随時検討していきます。
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>児童発達支援計画*2</u> が作成されているか	21			<ul style="list-style-type: none"> ・保護者のヒヤリングのもと、子どもに必要な部分や親の希望を取り入れて作成されています。 	子どもや保護者とコミュニケーションをしっかりと取りながら、子どもの実態やニーズを的確に把握していきます。その上で個別支援計画を作成し、同意をもらい、対応していきます。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	20	1	1		児童発達支援管理責任者を中心として、保護者や子どもの意向を分かりやすくして、項目の整理を行っています。今の時点でその子にとって療育のポイントに記述することなど、一人一人の子どもの状態と療育目標、支援ポイントを把握した上で内容となっています。それについても保護者と意見交換をしながら、進めています。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	20	1	1		引き続きお子さん一人一人の個別支援計画に基づき、職員と保護者で共通理解を持ちながら支援をしていきます。
	8	<u>活動プログラム*3</u> が固定化しないよう工夫されているか	20	2		<ul style="list-style-type: none"> ・夏期のプール遊びなど、季節に合わせたプログラムになっている。 ・子どもへ対して、必要なレベルの刺激が特に夏までは不足していたと思います。 	低年齢のお子さんや同じことを繰り返すことで不安や緊張状態が薄れ、集団参加がしやすいお子さについては、プログラムを固定することがあります。個々の状態に合わせて、プログラムのバリエーションは増やしていくなど、今後も工夫していきます。

9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	12	4	6	<ul style="list-style-type: none"> ・併用の保育園との交流は、日常的には園庭での遊びや行事などで交流の場を持つようにしています。 ・低年齢のお子さん達は場を共有する中で、雰囲気を感じながら、年長のおさんは一緒に活動状況に参加していくなど、お子さんに合わせた状況が持てるようにと考えています。交流の内容については今後も検討していきます。
10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	22			<p>保護者会や入園前のオリエンテーションの際に説明をしていますが、保護者にとって、説明がより分かり易くなるように、伝え方なども工夫していきます。</p>
11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	21		1	<ul style="list-style-type: none"> ・面談という場を持って、とても丁寧に説明していただきました。 ・子どもに合わせた内容の丁寧な計画を立ててくださっています。 <p>個別支援計画では、発達支援、家庭支援、地域支援の項目に合わせ、必要な支援等を記述しています。内容を保護者の方に説明をしながら確認し合い、同意を得ています。</p>
12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	18	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回の動作法で、専門の先生と話せたり、助言をいただいている。 <p>・家族支援プログラムとして、動作法の親子療育やペアレントメンターの活用をしながら、子育ての具体的なことについてアドバイス等をしたり、意見交換が出来る場を持つようにしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・また日常的に送迎時や面談等でも保護者への助言等に努めていますが、引き続き継続していきます。

保護者への説明等	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	21	1	<ul style="list-style-type: none"> ・登園時に子どもの様子について話したり、連絡帳でもやりとりできています。 ・子どもが多い日などは、ゆっくり話を聞く機会がないです。以前はもっと気軽に相談出来たように感じます。 	保護者と送迎時に話をしたり、そこで対応できない時は電話連絡をしながら、情報共有に努めています。保護者と、お子さんの状態を共通理解が持てるよう努めていきます。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	22		<ul style="list-style-type: none"> ・いつも相談にのっていただき本当に心強いです。 ・定期的な個別面談で相談したり、助言をもらっています。 	個別面談は年3回の他、随時必要に応じて、お申し出がある際やこちらから声をかけて行っています。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	21	1	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士の連携は希薄になったと思います。 	引き続き、保護者会や懇談会等、療育勉強会、ぱっぱの会を開催していきます。また保護者主催の茶話会への協力等を行います。交流の機会をより多く持てるようにします。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	21	1	<ul style="list-style-type: none"> ・相談しやすい雰囲気があり、適切に対応していただいています。感染症が発生した時などのお知らせが分かり易く掲示されています。 ・新年度に大きく環境が変化した際の対応がされていない、もしくは遅かったと感じています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・随時対応させていただいております。相談内容によって返答に時間を要することもあります。保護者が不安に感じることはないよう迅速に対応していきます。 ・環境の変化等は保護者会で説明し、その後個々に保護者とも話をしておりますが、引き続き対応に努めます。

17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	22			<ul style="list-style-type: none"> ・日々の連絡帳でやり取り出来ていると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、お子さんに対しては、モデルを示したり、絵や写真カード等の視覚的なアプローチも含め、お子さん自身の内面の気持ちの理解や表出に繋げていけるような関わりに努めていきます。 ・保護者に対しては日常の送迎時や連絡帳、面談等でも、保護者自身の気持ちに共感しながら、お子さんへの理解や対応についても共有できるよう努めていきます。
18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	20		2		
19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	22			<ul style="list-style-type: none"> ・特に不安を感じたことはありません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の取り扱いについては、保護者会において、法人の個人情報保護ポリシー・特定個人情報の適正な取り扱いに関する基本方針に基づき対応していることを保護者に説明しています。 ・職員については再度周知徹底を図ります。また、個人ファイルの保管する棚の鍵は必ず閉め切ること等も注意をしています。 ・個人情報を取扱う場合は、必ず保護者に説明をして紙面上も同意を得ていることから、引き続きも保護者が不安にならないよう対応していきます。

非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	22				・入園時の説明会や保護者会で説明を受けています。	マニュアル等については、保護者会で説明をしていますが、再度詳細に伝えるようにします。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	21			1		避難訓練については、月のお知らせや連絡帳保護者会の折に内容を伝えるようにしています。また、マニュアル等も保護者会で説明をしています。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	21			1	・とても楽しそうに準備をして出かけます。 ・日々楽しく通園しており、とても感謝しています。 ・基本的に楽しみにして満足しているのですが、多様な子どもの特性を「認める」に留まり、広げる、伸ばすに至っているのかは不明。	・お子さん達が安心して安定した気持ちで楽しく過ごせるように職員との関係づくりにも努めていきたいと思えます。 ・楽しめるような活動や行事を職員で話し合い、工夫していきたいと思えます。
	23	事業所の支援に満足しているか	20			2	・日々感謝です。 ・区内には、自閉症の子ども専門の療育園のような場所は他になく、とてもありがたく利用させてもらっています。信頼して子どものことをお願い出来ています。 ・お天気の日、外遊びを多くしてほしいです。人員配置で難しいかも知れませんが。	今後も、お子さんが安心して、お子さん自身の自発的や主体性、自己統制力を育て、お子さんの自己実現に向けた支援を職員一同努めていきます。保護者の方と協力しながら一緒に考えていきたいと思えます。

*1 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が

*3 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

*4 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

